

# 2022年度事業計画

2022年3月

東葉高速鉄道株式会社

当社は、地域に密着し地域と共に歩む鉄道として、開業以来、安全・正確・快適な輸送サービスの提供と健全経営の確立に努め、運転無事故記録を継続してまいりました。しかしその一方で、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の度重なる感染拡大やお客様の行動様式の変化など、当社を取り巻く経営環境はコロナ禍前から大きく変化しております。

このような状況を踏まえ、2022年度も引き続き、お客様や社員などの感染対策を徹底するとともに、輸送の安全確保並びに良質な輸送サービスの提供を図りつつ、新たな需要喚起の取組みを積極的に展開し定期外旅客や関連事業収入の拡大に努め、経費節減に最大限の努力を傾注することにより、コロナ禍からの経営面での早期回復を目指してまいります。

また、当社は、依然として多額の有利子負債を抱えており、経営自立のための不断の努力が強く求められていることから、2020年12月に策定した「第七次経営改善計画」に基づく施策及び事業の着実な実施を通じて、早期の自立経営の確立を目指すとともに、強固な経営基盤の構築に努めてまいります。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況については、依然として不透明な状況が続いていることから、引き続き当社の輸送面及び経営面への影響を注視してまいります。

以下、2022年度の主な事業を記載します。

#### 【新型コロナウイルス感染症対策】

##### 1. 感染対策の徹底

国及び自治体の指示などを踏まえ、お客様に安心して当社線をご利用いただけるよう、駅及び車両の機器や設備の消毒、並びに社員の感染対策を徹底します。

- (1) 駅の機器や設備の消毒、車両内の抗菌・抗ウイルス処理、窓開けによる換気などを行います
- (2) 乗務員や駅係員のマスク着用、始業点呼時の健康確認など社員の感染対策を徹底します
- (3) 国及び自治体と連携して放送やポスター掲示により感染対策の呼びかけを行います

#### 【コロナ禍からの早期回復】

##### 1. 運輸収入の確保

コロナ禍により影響を受けた旅客需要の喚起を図るため、様々な機会を捉えてお得な期間限定型企画乗車券の販売やイベントなどを実施し、運輸収入の増加に最大限努めるとともに、沿線の魅力や住みやすさの情報発信に努め沿線への定住促進に貢献します。

- (1) 季節の行楽シーズンを捉えてお得な企画乗車券を販売し、定期外旅客の利用拡大に努めます
- (2) 感染対策に配慮した駅構内や列車を活用したイベントなどの開催により集客に努めます
- (3) 沿線情報誌の配布やホームページ・Twitterなどを活用し、沿線地域の魅力発信に努めます

##### 2. 関連事業の推進

駅構内や高架下における「新しい生活様式」を踏まえた事業を検討するとともに、高架下の新たな区画の貸付や駅広告の利用促進に向けたPR活動などにより関連事業収入の拡大に努めます。

- (1) 耐震補強工事が完了した高架下区画に新規店舗を建設します
- (2) 耐震補強工事が完了した既存の駅構内店舗区画に新たなテナントを誘致します
- (3) 未利用であった高架下区画の新規貸付を推進します
- (4) 駅に設置した電動シェアサイクルと沿線拠点との連携を図り、新たな鉄道利用を促進します

##### 3. 財務体質の改善

コロナ禍を踏まえ、固定経費の節減及び設備投資の効率化など機動的な業務運営に最大限の努力

を傾注します。また、計画的にキャッシュフローを確保し、着実な債務償還により債務の減少を図るとともに、自然災害、金利変動などの経営上のリスクに備えます。

- (1) 修繕費及びその他経費について、安全輸送に必要な修繕費の確保を前提に、外注業務の削減などを工夫しつつ管理を進めます
- (2) 設備投資の事業執行においては、十分な仕様の検討、施工内容及び工程の精査を行い、コスト削減や契約時の価格交渉に努めるとともに、契約後の工程管理の強化により、各事業の効率化を図ります
- (3) 着実な債務償還及び経営上のリスクに備えるため、所要のキャッシュフローを確保します
- (4) 金利変動リスクの低減を図るため、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構に対し、債務の一部について超長期債による借換えを要請します

#### 4. 地域との共生

地元関係者との連携を図りながら、沿線の自然や観光資源を活用したイベント開催などを通じて地域の魅力を積極的に情報発信するとともに、賑わい空間の創出や新たなまちづくりに協力します。

- (1) 感染対策に配慮した「東葉健康ウォーク」などのイベントを通じて地域交流を図ります
- (2) 八千代緑が丘駅と京成バラ園を結ぶ「八千代バラ街道」の賑わいの創出に協力します
- (3) 海老川上流地区の新駅設置を含む新たなまちづくりについて、計画的な推進に協力します

### 【輸送の安全確保・良質なサービスの提供】

#### 1. 輸送の安全確保

鉄道事業者として最大の使命である輸送の安全を確保し開業以来の運転無事故記録を継続すべく、施設の保守管理を的確に実施するとともに、自然災害や犯罪行為への対応も含めた安全・危機管理体制の強化を図ります。

- (1) 切迫する首都直下地震などに備えるため高架橋の耐震補強を推進します
- (2) 大規模台風などに備え、駅舎の外壁修繕や計画運休などハード・ソフト両面の対策を進めます
- (3) 施設・設備を健全に維持するためレール、車両などの点検・整備を定期的に行います
- (4) 激甚化する自然災害や犯罪行為の発生も踏まえて、安全教育、異常時総合訓練を実施し社員の安全意識及び危機管理能力の向上を図ります

#### 2. 良質なサービスの提供

お客様の様々なご意見やご要望を踏まえ、お客様の視点に立った質の高い輸送サービスの提供、快適な駅及び車内環境の整備を進めます。

- (1) 「サービス介助士」資格取得者の知識・技能の維持向上をはじめ、社員の接遇教育を計画的に進め、どなたにも快適にご利用いただける鉄道を目指します
- (2) 当社公式サイトなどから寄せられる「お客さまの声」を反映したサービス改善に努めます

#### 3. 施設・設備の計画的更新

開業から25年を迎えた施設・設備について健全度を踏まえ計画的に更新を行うとともに、メンテナンスの省力化、安全性の向上を図ります。

- (1) 2024年度末運用開始を目標に列車制御システムを車内信号方式(CS-ATC)に改良します
- (2) 2022年度末運用開始を目標に列車無線をデジタル方式に改良します
- (3) 駅務機器の計画的な更新を進めます
- (4) 経年により損傷・摩耗が進行した箇所から優先的に、全線のレール交換を計画的に進めます

## 損益収支予算

(単位：百万円)

区 分		予算額
経 常 損 益	営業収益	14,327
	旅客運輸収入	13,849
	運輸雑収	478
	営業費用	10,462
	営業費	6,243
	減価償却費	4,219
	営業利益	3,865
	営業外損益	△ 1,067
経常利益		2,798
特別損益		11
法人税等		911
法人税等調整額		△ 51
当期純利益		1,949

※記載金額は各項目別に四捨五入して表示

## 設備投資予算

(単位：百万円)

区 分	予算額	備 考
安全対策	2,824	列車無線更新 他
増収対策	68	高架下店舗新設
サービス向上対策	606	P A S M O 関連改修 他
その他	132	海老川新駅設置設計 他
合 計	3,630	